

パパママ・キッズ婚の
現状について

新連載
①
毎月11日号

講師
般社団法人 日本子育て支援協会
岩本久実子氏



をし、また子どもと一緒にアクションを起こすというだけで大変な勇気が要されます。そんなママパパたちの声に応えようと立ち上がったのが当協会の“パパママ・キッズ婚プランナー養成講座”です。

挙式・披露宴の実施数が減少していると叫ばれ混迷深まる婚礼業界の現状。一方、未挙式で結婚し、現在子どもがいる夫婦の61%が“機会があれば結婚式を挙げたい！”（「ミキハウス子育て総研(株) Weekly ゴーゴーリサーチ」調べ）と答えている、興味深い数字があります。

機会があれば結婚式を挙げたいファミリーは6割以上！

なし婚層と一括りにされている中には、まったく結婚式に興味が無いというわけではなく、何かしらの動機づけやタイミングが合えば挙げたい！と思っている潜在層が存在するのです。

昨今では“マタニティW”が世間でも浸透し、結婚式場でも“マタニティプラン”がレギュラープランとなっておりますが、子連れでの結婚式においてはまだまだ認知が低いです。「子どもがいて結婚式なんて今さら恥ずかしい・・・」「子どもと一緒に結婚式ができるなんて知らなかった」といった声が実際に寄せられています。

婚礼業界では子連れの結婚式は1つの形として当たり前のように実施されていますが、世間では“子連れ”というだけで肩身の狭い思い

ミキハウス子育て総研(株)とタイアップし“ウェルカムベビーの結婚式場”認定取得でハード面の環境整備がなされた施設の人材を対象に、“パパママ・キッズ婚”の明確な窓口としての役割を担うプランナーを養成。ソフト面での子連れ受入体制の充実を目指し、現在49名の“パパママ・キッズ婚プランナー”が誕生しています。(2014年12月末現在)

受講修了者の中には独身プランナーも多く終了後には『子育ての経験がなく、お子さま連れのお客様へのご対応に苦勞することがあったので、とても勉強になった。』という声や、『私たちの努力で“結婚式を諦めていた人の夢が叶う”こともあるのだと実感したので、これから様々な取り組みをしようと思う。』など。主催者としても養成講座を通して更にこの意識を拡充していかなくては！と毎回奮起させられます。

そのような思いから、本連載では養成講座にてお話ししている内容の一部をご紹介しますながら、“パパママ・キッズ婚”への対応やケア、子連れ参列者への対応方法などご案内をします。

